



北小ものがたり



R5.6.26 校長 坂本公彦

～ 5年生林間学校～

6月15日（木）・16日（金）の2日間、5年生は林間学校に出かけました。

林間学校のテーマは「みんなが主役の林間学校」文字通り2日間の日程の中で、5年生一人一人が主役となった林間学校でした。2日間の活動を通して最も印象的だったのは、どの活動の中でも5年生が互いに助け合い、協力して活動に取り組む姿です。美し森ハイキングや冒険ハイクでは、「大丈夫?」「がんばって!」と励ましたり、野外炊事では「何か手伝うことある?」「こっちの準備は任せて!」と声を掛け合ったりして、友だちのことを思いやることができました。

天候が心配された2日間でしたが、予定通り全ての活動を行うことができました。

【1日目】

ハケ岳少年自然の家に着き、美し森ハイキングに出発する時も天候が心配されましたが、天気も5年生の味方をしてくれました。みんな元気いっぱいにスタートし、絵図を確認しながらハイキングを楽しんでいました。さすが5年生ハケ岳の自然にも目を向け、せみ（ヒグラシ）を発見した班もありました。どの班も迷うことなく、みんな揃ってゴールであるハケ岳少年自然の家に着きました。（肌寒い日だったのでファームショップのソフトクリームは2日目の帰りに食べることにしました。）

野外炊事では、各班で分担して食材を切ったり、竈門の準備をしたり、協力して美味しいカレーを作ることができました。自分たちの力で作り上げたカレーの味は格別だったことと思います。夜はナイトハイクも実施できました。夜の森の中、反射板を頼りに友だちと歩くなんて経験は滅多にできることではないので本当に貴重な体験となったことと思います。



【2日目】

多くの人が最も楽しみにしていた活動が冒険ハイクだったのではないのでしょうか。前日の夜から出発前まで降り続いた雨のため、すべてのチェックポイントに挑戦することはできませんでしたが、友だちと協力しながら、自然の中で思う存分様々な活動に取り組むことができました。午後は、焼き杉のキーホルダーづくりを体験し、世界にひとつだけのオリジナルキーホルダーを作りました。林間学校の大切な思い出のひとつになったことでしょう。

2日間の宿泊学習を通して、ひとまわり大きく成長した5年生。これからの学校生活での活躍がとても楽しみです。引き続き竜王北小学校の高学年として下級生のお手本となって活動して欲しいと思います。5年生のみなさん、2日間一緒に活動できてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

（文責 志村征俊）



～北小まつり大成功！そして大成長!!～

6月20日に、児童会が企画した「北小まつり」が行われました。昨年は校庭で行っていましたが、今年はコロナ前に戻り教室や体育館での実施です。全校児童が色組（縦割り）18班に分かれ、それぞれがアイデア豊富なゲーム（輪投げや射的、ボーリングなど）を用意し、他の班のお客さんを楽しませていました。上級生の素晴らしいリーダーシップのもと、みんなが笑顔で活動している様子が印象的でした。終わりの合図が放送されると、子ども達は「もっとお店まわりをしたあーい！」と、少し残念そうでした。

子ども達は「北小まつり」のような異学年同士が協力し合う縦割り活動を通じて、社会性を身につけ、相互協力やコミュニケーションの重要性を学び、お互いの違いを尊重する力を養います。また上級生が下級生に教え指導することで、教えることや教わることの喜びを共有し、リーダーシップの重要性を学びます。教育は読み書きや計算力が注目されがちですが、学校教育では「北小まつり」のような活動を通して、多様なスキルや価値観を培い、社会で活躍するための基盤を築いています。

ご家庭でも「北小まつり」について話題にしてみてください。企画運営を行った児童会本部役員の皆さん、お疲れ様、そしてありがとうございました。



～プール授業、始まっています～



6月からプールの授業が始まっています。昨年度は感染症対策で、十分な授業時間が取れませんでした。今年から本格再開となります。約3年間のブランク（？）が大きいものだったことは否めませんが、子ども達は無邪気な笑顔でプールの授業を楽しんでいます。プール授業は1学期末まで行い、学年ごとの学習目標に到達するよう取り組みます。ご家庭でのご支援、よろしくお願いします。



学習目標【一部】

- 1・2年生：水の中を歩く・潜る・水中じゃんけんなどの遊び 3年生：潜る・浮く・補助具で泳ぐ
4年生：蹴伸び・補助具でキック・初歩の泳ぎ 5年生：クロール 6年生：クロール・平泳ぎ

地域の方からのうれしいお話し（その2）

「朝、車で出勤途中に北小の登校班に会いました。信号のない交差点だったので、車を停めて登校班の児童を先に横断させました。すると横断し終えた児童一人ひとりが、運転している私に向かって『ありがとうございます』と元気に言ったり、頭をべこりと下げたりして、感謝の気持ちを伝えてくれました。朝から、とても気持ちの良い日になりました。」というお電話を、地域の方からいただきました。

褒めていただいて嬉しい気持ちになると同時に、感謝の気持ちをその場に応じたやり方で表現する北小児童をととても誇らしく思いました。これからも、各ご家庭で交通ルールだけではなく、マナーやモラルについてご指導をお願いいたします。